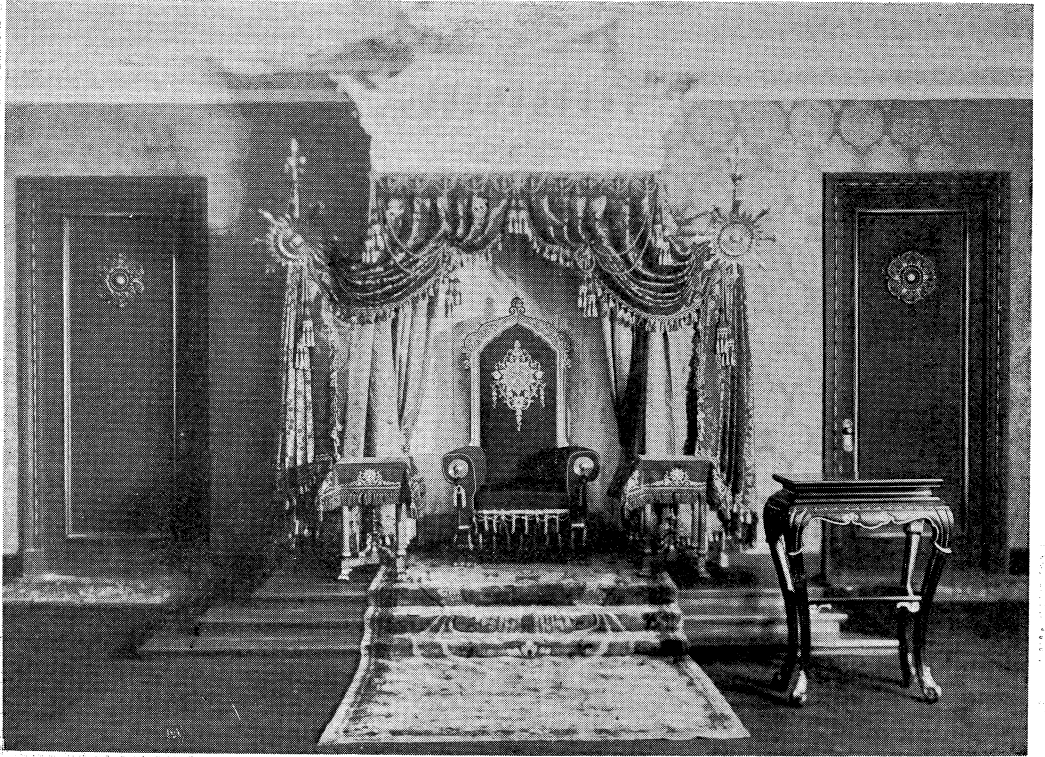


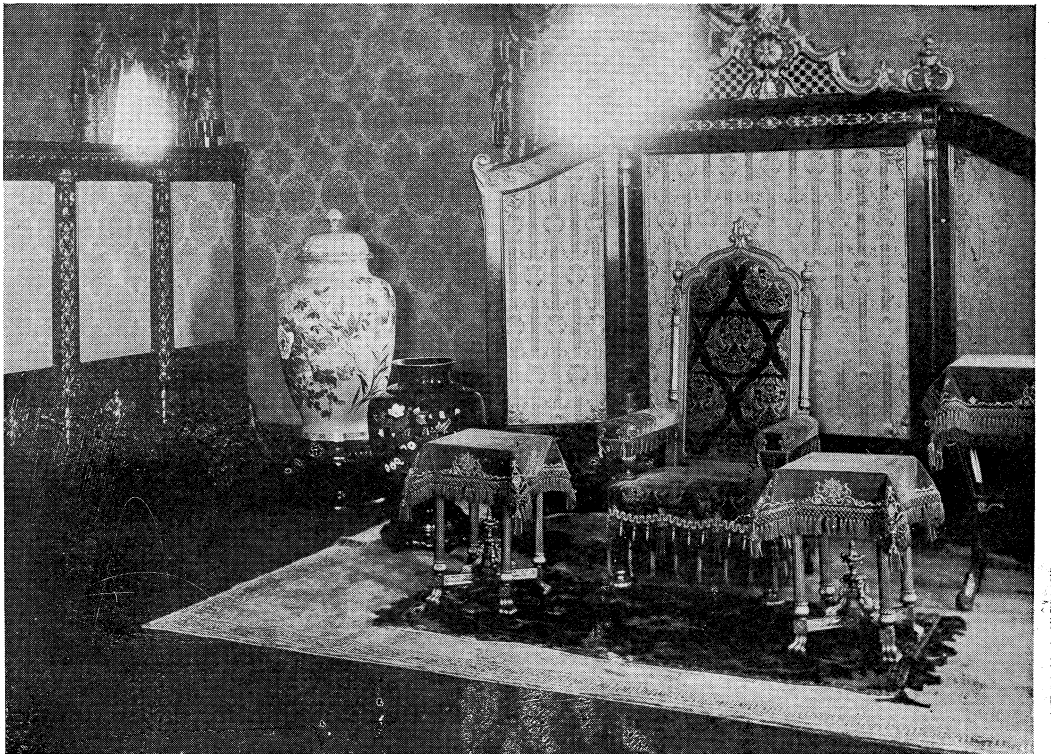
(說明詳細二頁參照)

滿洲國宮內府

正門

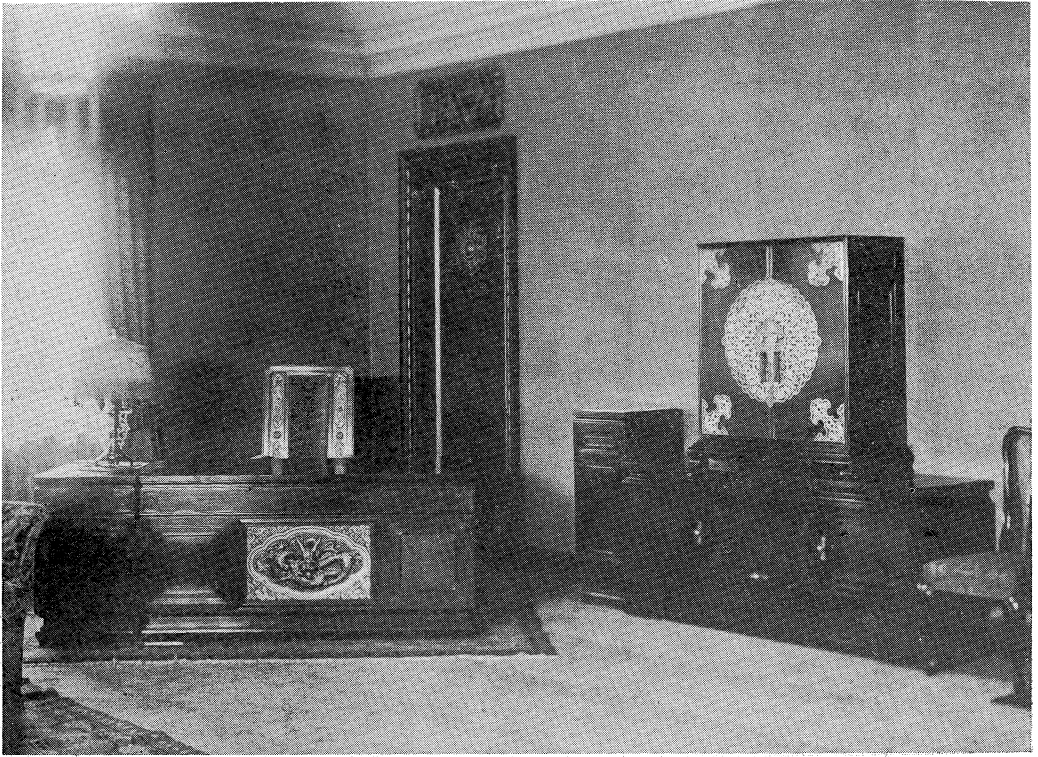


滿洲國宮內府 謁見室御座所

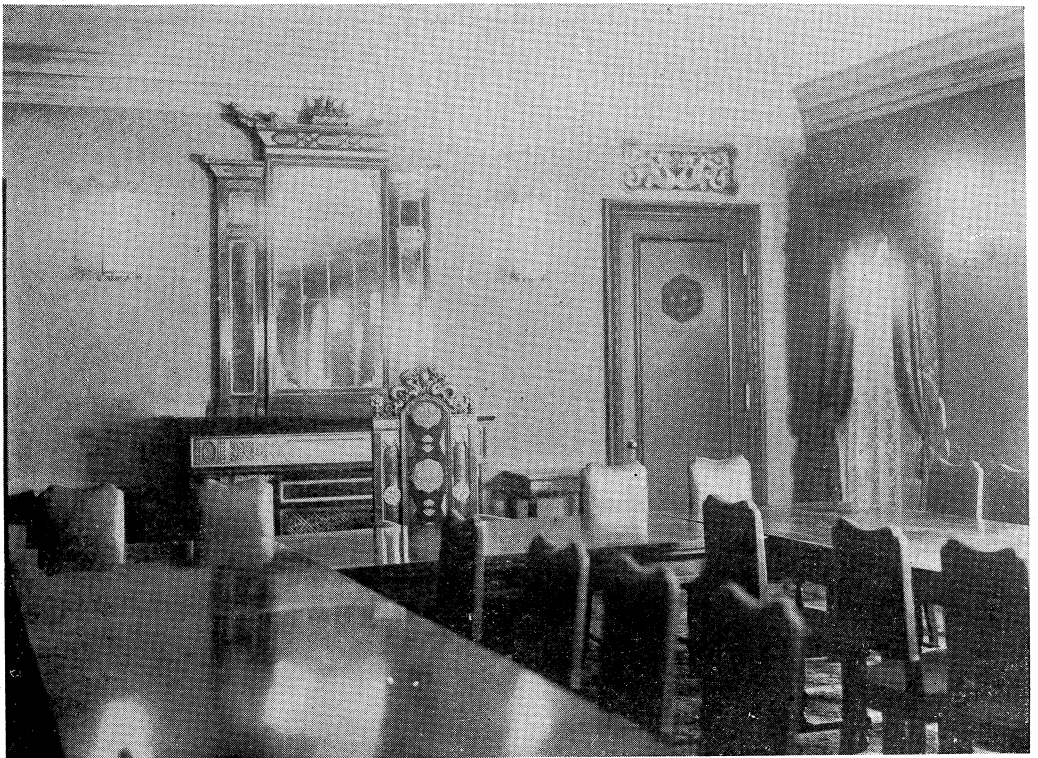


同上 通常謁見室

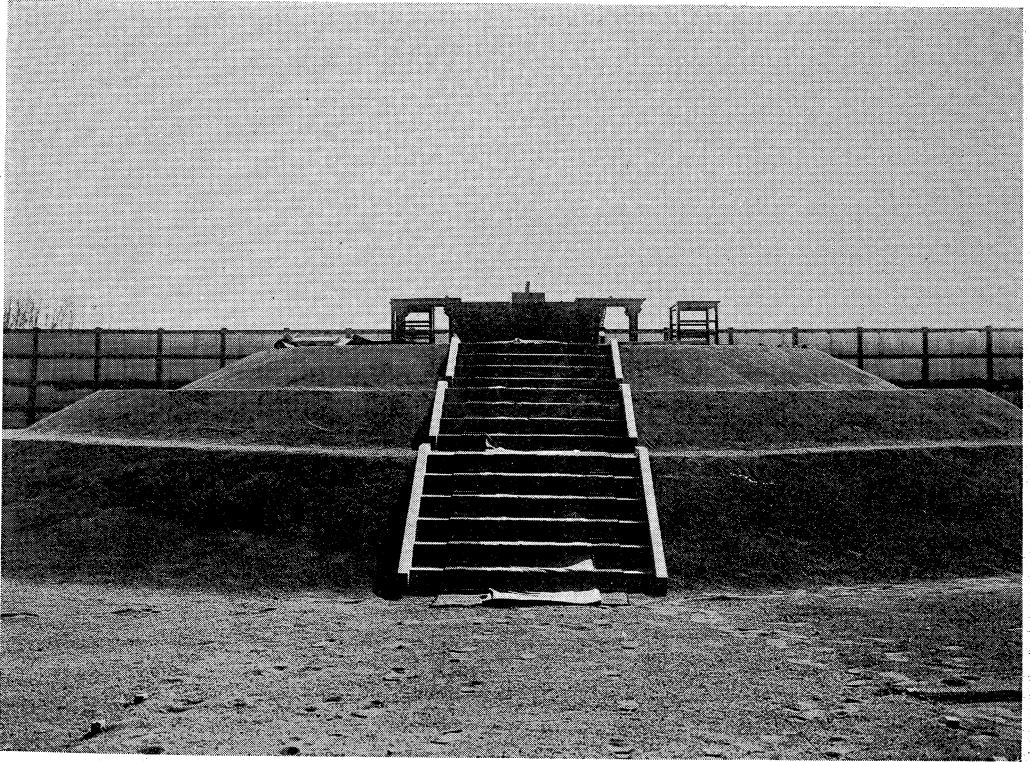
(說明詳細二頁參照)



滿洲國宮內府 御學問所



同上 饗宴場



(說明詳細三頁參照)

在 新 京 郊 祭 場 · 天 壇

謹みて滿洲國の大典を祝す

會 長 岡 大 路

滿洲國創肇以來爰に二年 內王道樂土の宏謨に基く執政統治の下、治績大いに揚がり、外東洋和平、友邦親善の大義に従ふ我が日本帝國の協力功を奏し、能く國內の治安を恢復し、政治、經濟の機構全く舊態を革め、文教、産業の振興亦大いに見るべきものあり。斯くて國礎日に益々鞏く、三千萬民衆は鼓腹擊壤、舉つて新政を謳歌し、執政の乾德威望を頌讚するの餘り遂に執政の皇帝即位に依り、大滿洲帝國の建設を嚮望するの聲、澎湃として全滿に漲り、上書建白國府に山集して盡くる處を知らず。則ち重臣屢々廟議を練り遂に國務總理をして全滿の官民を代表し、執政皇帝即位の熱望を上申せしむるや、執政深く之を諒とし恭しく天意を奉戴し、國土永遠の和平と民衆三千萬の福祉の爲、其の建願を嘉納し給ひ、大同三年三月一日建國二周年の吉辰をトし古典に則りて郊祭の御儀を執り、次いで皇帝登極の大典を擧げさせられ、同時に詔書を喚發して帝政敷施の主旨を炳かにし給へり。洵に是れ順天安民の聖業にして、滿洲國三千萬民衆にとり無上の幸慶たるは勿論、亦實に友邦日本帝國の慶賀措く能はざる處なりとす。



熟惟るに滿洲國は素是れ新帝祖宗龍興の地にして禁闕、陵墓今尙存し、往年の隆盛を偲ばしむるに足るものあり。新帝長くも幼にして清朝の皇統を繼がせられ支那四百餘州に君臨し給ひしに、偶々武漢の要衝に叛亂起り、遂に其の禪讓を餘儀なくせしめられ、慌しくも皇居を脱して具さに流轉の辛酸苦愁を嘗めさせ給ひ、靜かに天期を待つて君徳を磨かせ給ひしこと凡そ二十年、其の間支那全土は國體を變改して共和政體を布告したりと雖も、軍閥依然として八方に割據し争權日も是足らず、治安施すに術なく匪凶徒らに横行して四億民衆は殆んど其の堵に安んずるなく、日夜相擁して苛斂誅求の非違に泣くのみなりき。

斯の秋に當つて、新帝曩に滿洲五族三千萬の民庶を率ゐて獨立を宣言し、今又官民一如の輿望を擔ひ、天意體現の信念に順ひ、故國滿洲の山河に據つて新に帝政を宣布し皇帝の寶詐を踏ませらる。噫皇天の照覽、冥合起結、眞に是宇内の靈理に應合するものに非ずして何ぞや。



曩に我が日本帝國が彼の滿洲事變を楔機とし、滿洲に於ける帝國の正當なる權益の擁護確保のため、聯盟諸國の猛烈なる反對ありたるに拘らず、支那軍閥の暴戾に對し敢然其の非違を糺彈して立ち、滿洲國の獨立を支持して之を完全なる國家たらしむを以て、東洋永遠の平和を確保する所以なりと信じ、日滿議定書を交換して友邦の契を結び、卒先其の獨立承認を